

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 穴 戸 稔

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 穴戸 稔

経理責任者氏名 山田真一郎

期 間	令和7年8月27～28日
用 務 先	北海道札幌文化芸術劇場
用 務	第20回全国市議会議長会研究フォーラム

内容及び所感

地方議会における「なり手不足」は、単に議員報酬の問題だけではなく、議会活動の負担感、仕事や家庭との両立の難しさ、議会への関心低下など複合的な要因によるものであるとの分析が示された。

また、女性や若者、子育て世代、現役世代など、多様な人材が議会活動へ参画できる環境整備の必要性について議論が行われた。特に、オンライン活用や議会DX、柔軟な議会運営などは、今後の地方議会改革の重要な視点であると感じた。

さらに、市民に対して議会活動を積極的に発信し、「議会が何をしているのか」を分かりやすく伝える努力が、議会への信頼や関心を高めることにつながるとの指摘は、本市議会においても重要な課題であると認識した。

内容及び所感

地方議会における「なり手不足」は、単に議員報酬の問題だけではなく、議会活動の負担感、仕事や家庭との両立の難しさ、議会への関心低下など複合的な要因によるものであるとの分析が示された。

また、女性や若者、子育て世代、現役世代など、多様な人材が議会活動へ参画できる環境整備の必要性について議論が行われた。特に、オンライン活用や議会DX、柔軟な議会運営などは、今後の地方議会改革の重要な視点であると感じた。

さらに、市民に対して議会活動を積極的に発信し、「議会が何をしているのか」を分かりやすく伝える努力が、議会への信頼や関心を高めることにつながるとの指摘は、本市議会にお

いても重要な課題であると認識した。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 保実 治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	実戸 稔	経理責任者	山田 真一郎
視 察 議 員	清友会 保実 治			
期 間	2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)			
視 察 先	北海道札幌市札幌文化芸術劇場 HOKU			
視 察 用 務	研究フォーラム 地方議員のなり手不足問題の解決の向 ₁₇			
視察先対応者				
概要及び所見	8月27日 講演: 伊吹 文明氏 パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 辻 陽氏(近畿大学法学部教授) 議員の不祥事などにより、議員に対する無関心や不信感が広がっている。地方議員は目に見えない拘束と、出費への対応が議員報酬ではたりない現状がある。議員を退職後の生活保障もまったくないという一面といえる。 具体的に多様な人材が立候補しやすい環境の整備、定数議員報酬の問題解決が重要。 パネリスト 牧原 出氏(東京大学先端科学技術研修センター) 総務省の改革について。			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員				
期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()			
視 察 先				
視 察 用 務				
視察先対応者				
概要及び所見	人口減少への対処はどのように対応するのか。 感染症対策、危機管理対策はどのように対応するのか。 この2つの課題について地方自治体での活かしがた。 広域圏域での連携自治体間、民間との連携等。 ハネリスト 白石 洋一氏(読売新聞東京本社政治部次長) 地方議会は政党政治ではなく、地域のための議会である。地方版政党交付金の導入の検討。出馬できる環境整備のために支援者が選挙資金の調達を考えるべきである。 ハネリスト 山下節子氏(全口市議会議長会副会長・宇部市議会議長) 議員の役割、議員の仕事への関心を高める。 子ども連への主権者教育。小・中学生による議会。 老後への不安、議員活動への不安、すべて経済的な不安をふくむ。 地方議員の厚生年金加入制度の実現、報酬州の見直しが必要だ。			

視察等報告（復命）書

三次市議会議員 様

報告者氏名

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員				
期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()			
視 察 先				
視 察 用 務				
視察先対応者				
概要及び所見	全国市議会に唯一選挙で定数割れとなった。 講師に北川正恭氏を迎え「議員のなり手不足に向き合うシンポジウム」を開催。議員が民意を反映させて、まちづくりを進めていけば「議会不要論」はなくなる。 パネリスト 平神 純子（鹿児島県南さつま市議会議員） 鹿児島県内女性議員100人を目指して女性ゼロ議会の解消に尽力。 1996年発足当初28人だった女性議員が現在89人に増加。いまだ「ゼロ」の議会もある。 パネリスト 中野 進氏（白山市議会議員） 「MGKみんなで議会を考えるキカイ」 議会の見える化 市民との対話、広報活動の充実。広報公聴委員会定数の増加と、活動拡大。			

視察・研修報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村 恵美子

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者指名 宍戸 稔

経理責任者氏名 山田 真一郎

期 間	2025 年 8月 27日(水)～ 2025 年 8月 28日(木)
用 務 先	北海道札幌市札幌文化芸術劇場Hotaru
用 務	研究フォーラムー地方議員のなり手不足問題の解決の向けてー
概要及所見	<u>8月27日</u> <u>講演 伊吹 文明 氏</u> <u>パネルディスカッション</u> 「多様な人材の参画促進の観点から 地方議会議員のなり手不足問題を考える」 <u>コーディネーター</u> 辻 陽 氏(近畿大学法学部教授) 議員に対する無関心、不祥事などへの不信が広がっている。特に地方においては労働時間の目に見えない拘束力と、出費への対応が議員報酬では賄えない現状がある。他の職業に比べて将来への生活保障のなさも要因。人口減少により地方議員選挙においてなり手不足が拍車をかけ投票率が低下。 多様な人材の参画を前提とした議会運営や、住民に開かれた議会の取り組みや、労働者等の立候補環境の整備が求められ、令和5年地方自治法の改正に至った。 具体的に多様な人材が立候補しやすい環境の整備、議員定数・議員報酬のあり方を進めることが重要。パネルディスカッションを進めていく。 <u>パネリスト</u> 牧原 出 氏(東京大学先端科学技術研修センター) 総務省の改革の流れについての論点。 人口減少への対処。新たな感染症等、危機対応をどう地方自治に活かすか、二つの課題が同時に発生。文献改革の副産物として首長の影響力強化と地方自治のデジタル化が早急に進み、議会のスタンスが問われている。技術革新へのリテラシーが求められる。多様なリテラシーとその相互調整が自治の基盤となる。

デジタル化の先に地方自治にとって必要なデータの集積。「地域カルテ」「地域の未来予測」の作成から見えてくる不足、圏域との連携の模索、自治体間、住民間での情報共有と協議の重要性を包括した上での自治体のあり方の構築。

パネリスト

白石 洋一氏(読売新聞東京本社政治部次長)

議員のなり手不足の現状。地方において政党政治での結束でなく、地域の発展に一致団結する。地方版政党交付金の検討はどうか。有権者の意識改革。地域の結びつきの再考。出たい人でなく、出したい人が出馬できる環境構築必要。日本の選挙は身銭を切る選挙。地方議員候補者に支援者が資金を集めることを考えるべき。自分たちの代表を送る気持ちの確立必要。

パネリスト

山下 節子氏(全国市議会議長会副会長 宇部市議会議長)

市議会が進めるべきこと。議員の役割・議員の仕事への関心を高める。げんえきせだい、多様な人材が立候補しやすい環境づくり。子どもたちへの主権者教育。子ども議会等。子ども選挙。

刑事的不安、老後への不安、議員活動への不安。全て経済的な不安を含む。現在全国市議会議長会では地方議員への厚生年金加入を制度化するため活動中。またそれぞれの議会では議員報酬の見直しに着手している。

パネリスト

長内 直也氏(札幌市議会議長)

主権者教育の推進。小学校からの取り組み。小中学生への議場見学チラシ配布。市議会子ども教室開催。札幌市議会キッズページ開設等、複数の取り組み。

所見

多様な人材の確保について、早期(小学生等)から政治への理解と関心を根付かせる様々な取り組みが必要であり、選挙、議員活動においては経済的負担の軽減、将来の保証が必要。

議員になって1から学ぶのではなく、議会人としての知識は必要。市民として行政の委員会、審議会等参画し、まちづくりの課題と解決策について認知しておくことが必要。

8月28日

課題討議「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター

牧瀬 稔氏(関東学院大学法学部地域創生学科教授)

投票率低下や無投票当選者割合が高まるなど小規模市議会における議員のなり手不足が顕在化。多様な人材参画を促し、議会活性化することが緊要な課題である。課題と解決について議論する。

なり手不足の要因は2分される。勝てる見込みがない選挙への不出馬は諦観的なり手不足。必然的なり手不足として、経済的不安、プライバシー確保の困難さ等、議員として働く事に魅力がない要因がある。求人募集で考えると、月額20万円、福利厚生なし、原則諸手当なし、昇給なし、退職金なしという事になる。

解決へ向けた取組、成果と課題、解決へ向けた地方議会の提言に

ついてディスカッションする。

パネリスト

今井 康善氏(前岡谷市議会議長)

「議員のなり手不足と向き合う岡谷市議会の挑戦」

令和5年市議会議員選挙、全国市議会でも唯一定数割れとなった。

審議会体制で取組重点項目を定め、議会改革に臨んだ。

議会情報公開、住民参加、議会機能強化。加えて議員のなり手不足対策。具体には講師に北川正恭氏を迎え「議員のなり手不足に向き合うシンポジウム」開催。議会が民意を反映させて、まちづくりを進めていけば議会不要論はなくなる。シンポジウム、対話集会での意見集約。議員定数、報酬の議論。

パネリスト

平神 純子氏(鹿児島県南さつま市議会議員)

鹿児島県内女性議員100人を目指して女性ゼロ議会の解消に尽力。1996年発足当初28人だった女性議員が現在89人に増加したが未だゼロ議会も存在。活動継続中。

パネリスト

中野 進氏(白山市議会議長)

「MGKみんなで議会を考えるキカイ」

・議会の見える化

・市民との対話、広報活動の充実。広報公聴委員会定数の増加と、広報部会と広聴部会での活動拡大。

・魅力ある報酬の議論は能登半島地震で報酬審議会の設置に至っていない。

・立候補の足枷となり得る制限の緩和。政治倫理条例にハラスメントに関する規定を明記。

未だ20代・30代の議員ゼロ、女性議員は1人増。まだまだ議会改革の途上。

所見

本市の取組と共通点あり。本市においては市民と情報共有、見える化について市民との意見交換の場拡大、議員自己評価等参考としていただける取組があり、参考として拡散していきたい。

女性議員を増やす取り組みは是非参考にしたい。取組には広域ネットワークづくりが必至であると改めて実感した。

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 重 信 好 範

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 宍 戸 稔

経理責任者氏名 山 田 真 一 郎

機 関	令和 7 年 8 月 27 日（水）～ 令和 7 年 8 月 28 日（木）
用 務 先	全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌
用 務	札幌文化芸術劇場
概要及び所見 （目的,参考に すべき事項,提 言,活用策等）	研究フォーラムの主な内容 「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマとし、伊吹元議長の講演やパネルディスカッション等に通じて全国の市議会議員が共通する政策課題について情報交換を行うとともに、二元代表制のもと地方議員としての責任について認識を新たにしました。

視察報告書（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

期 間	令和 7 年 8 月 27 日（水）～令和 7 年 8 月 28 日（木）
視 察 先	札幌文化芸術劇場 hitaru
視 察 用 務	第20回全国市議会議長会研究フォーラム
	基調講演 主権を預かる誇りと責任 伊吹文明氏 [元衆議院議長] パネルディスカッション 多様な人材の三角促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える 辻陽氏 [近畿大学法学部教授] 地方制度改革下の地方議会 牧原 出 [東京大学教授] 統一地方選を振り返る 白石洋一氏 [読売新聞東京本社政治部次長] 多様な人材の参画促進の観点から地方議員のなり手不足問題を考える 山下節子氏 [山口県宇部市議会議長] なり手不足問題対策としての主権者教育

長内直也氏 [北海道札幌市議会議長]

課題討議

地方議会議員のなり手不足問題の取組報告

牧瀬稔氏 [関東学院大学法学部地域創生学科教授]

事例報告

議員の「なり手不足」と向き合う岡谷市議会の挑戦

今井轰氏 [長野県岡谷市議会前議長]

鹿児島県内の女性議員を100人にする会

平神純子氏 [鹿児島県南さつま市議会議員]

MGK みんなでギカイを考えるキカイ

中野進氏 [石川県自山市議会議長]

考察

三次市の市議会においては、無投票ではなく選挙は行われていますが、議員のなり手不足とい^ろう他の市町や全国的な現状について知ることができました。

そして、そのことにより現在、三次市の議会で起こっていることや、将来的に起こりうることを客観的に考える機会になりました。

対策事例等も多数紹介はされましたが、その仕法が三次市に合うかどうかは、更に研究する必要があるとも考えられるので、引き続き調査します。

